

科目名称：	日本語表現Ⅰ（美術学科）	
担当者名：	太田 淳子	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
グローバル化や情報化が進み、多文化社会に近づく中、答えのない課題が山積している現代社会を生き抜くためには、多様なものの見方、考え方を持つとともに、人と協働的に解決する力が求められる。まず、日本の古典や伝統的な和歌に関心を持ち、日本人の価値観や日本文化に対する理解を深める。次に、小論文を書くことで日本語力を高め、論理的思考力や批判的思考力を育成する。また、俳句の実作や句会を通して、感性や表現力、共感力を磨く。さらに、ビブリオバトルを実践することで、読書への関心を高め、主体的・対話的で深い学びやプレゼンテーション力を養成する。		
授業の達成目標・到達目標		
①『源氏物語』の和歌を鑑賞することにより、日本人の価値観や日本文化に対する理解が深まっている。 ②語彙力テストや小論文の作成により、日本語力や論理的思考力、批判的思考力が身についている。 ③俳句の実作や句会を通して、感性や表現力、共感力が磨かれている。 ④ビブリオバトルを実践することにより、読書への関心が高まり、主体的・対話的で深い学びやプレゼンテーション力が身についている。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		50	40	10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	とてもよい	よい	もうひとつ	要努力
日本人の感じ方や考え方、日本文化の特性への理解	日本人の価値観や日本文化への理解が深まっている。	日本人の価値観や日本文化への理解がある程度深まっている。	日本人の価値観や日本文化への理解がやや不十分である。	日本人の価値観や日本文化への理解が不十分である。
日本語力や論理的思考力・批判的思考力の育成	日本語力や論理的思考力、批判的思考力が十分に身についている。	日本語力や論理的思考力、批判的思考力が、ある程度身についている。	日本語力はある程度身につけているが、論理的思考力、批判的思考力は不十分である。	日本語力も論理的思考力、批判的思考力も不十分である。
感性や表現力、共感力の錬磨	感性や表現力、共感力が磨かれている。	感性や表現力、共感力が、ある程度磨かれている。	感性や表現力はある程度あるが、共感力がやや不十分である。	感性も表現力、共感力も不十分である。
主体的・対話的で深い学びやプレゼンテーション力の養成	主体的・対話的で深い学びやプレゼンテーション力が身についている。	主体的・対話的で深い学びやプレゼンテーション力がある程度身についている。	主体的・対話的で深い学びがある程度あるが、プレゼンテーション力はやや不十分である。	主体的・対話的で深い学びもプレゼンテーション力も不十分である。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス 語彙力テスト(全10回)の説明 『源氏物語』の作品に関する説明(演習)	『源氏物語』の作品の要点のまとめ 語彙力テスト①の練習	45分
第2回 語彙力テスト① 和歌で読み解く『源氏物語』①理解と鑑賞(演習)	『源氏物語』①要点のまとめ 語彙力テスト②の練習	45分
第3回 語彙力テスト② 和歌で読み解く『源氏物語』②理解と鑑賞(演習)	『源氏物語』②要点のまとめ 語彙力テスト③の練習	45分
第4回 語彙力テスト③ 和歌で読み解く『源氏物語』③理解と鑑賞(演習)	『源氏物語』③要点のまとめ 語彙力テスト④の練習	45分
第5回 語彙力テスト④ 『源氏物語』の現代的価値に関する小論文の作成	『源氏物語』の現代的価値に関する考えを深める 色紙制作の準備	45分
第6回 色紙の制作①～『源氏物語』の和歌の一場面を表現	色紙制作の続き	45分
第7回 色紙の制作②～『源氏物語』の和歌の一場面を表現	語彙力テスト⑤の練習	90分
第8回 語彙力テスト⑤ 小論文講座①知識と技能・実践	日本文化に関する考えを深める 語彙力テスト⑥の練習	45分
第9回 語彙力テスト⑥ 小論文講座②合評(グループワーク)・発表	日本文化に関する考えを深める 語彙力テスト⑦の練習	45分
第10回 語彙力テスト⑦ 俳句講座①基礎知識と技能・実作	「俳句の知識と技能」要点のまとめ 語彙力テスト⑧の練習	45分
第11回 語彙力テスト⑧ 俳句講座②合評(グループワーク)	俳句等の短詩型文学に対する理解を深める 語彙力テスト⑨の練習	45分
第12回 語彙力テスト⑨ 色紙の合評 読書の勧め①ビブリオバトルの方法	ビブリオバトル用の本の準備 語彙力テスト⑩の練習	45分
第13回 語彙力テスト⑩ 読書の勧め②ビブリオバトルの原稿作成	ビブリオバトルの発表の練習	45分
第14回 読書の勧め③ビブリオバトルの実践(全体)	小テストの準備	45分
第15回 「日本語表現Ⅰ」のまとめと振り返り、小テスト	「日本語表現Ⅰ」の復習	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、各回の要点まとめをつくっておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト50% 授業内提出課題40% 授業への積極的な関与10% として評価する。

課題に対してのフィードバック

- 1 小テストは確認して返却する
- 2 授業内課題は評価してフィードバックする

教科書・参考書

教科書は使用しない。毎回プリントを配付するので、各自でファイルを用意して整理する。また、参考書については、必要に応じて紹介する。